

【別添様式2：不適合事象完了報告書】

不適合事象の種類	火災（区分3）
不適合事象発生場所	リサイクルプラザ 1F 可燃粗大ごみ破砕機、せん断物コンベア
不適合事象発生日時	平成 22 年 1 月 14 日 14時 12分
1) 不適合事象の発生概要	リサイクルプラザ1階に設置してある可燃粗大ごみ破砕機の下部出口及びその下にある破砕後のごみを搬送するせん断物コンベア（金属製）において、破砕後のごみが燃えた。
2) 不適合事象の原因	粗大ごみ中に混入していた何らかの引火物（可燃性ガス等）に火花が引火して、破砕中のごみに着火し、一部は破砕機から落下し、せん断物コンベア上で燃え出したものと推定される。
3) 被害状況	①設備・装置の被害状況 無
	②人的被害状況 無
	③二次被害状況 無
	④周辺環境への影響： 無
4) 不適合事象発生時の対応等	せん断物コンベアの破砕機に近いところに設置してある炎検知機で炎検知と同時に、自動で消火用散水設備から散水を開始した。（コンベアは自動停止する。）せん断物コンベア下部の水平部で燃えている火を、職員が水道水により消火した。さらに、念のためせん断物コンベア等を再起動し、NO2 可燃物コンベアの乗り継ぎ先の NO3 可燃物コンベアを逆回転させ、ごみを床に落とし火種がないことを確認した。
5) 施設稼働停止の状況及び復旧日時	施設稼働停止期間： 0日（0.13時間） / 低負荷時間： 0時間 復旧日時：平成 22 年 1 月 14 日 14 時 20 分（鎮火14時20分）
6) 不適合事象の調査及び防止対策等の状況	①不適合事象対策本部の設置： 無
	②周辺環境調査の実施： 無
	③不適合事象調査委員会の開催 無
	④復旧作業・不適合事象防止対策・改善策等 今回のような事象は避けがたいことであり、破砕機等はそのことを想定して、炎やガス等の検知装置及び自動消火設備を備えている。今回は、自動消火設備と職員の初期消火活動で消火した。また、せん断物コンベア等を再起動して、ごみを床に落として火種のないことを確認した。 今後、発火原因となる物の分別について、構成市町とも連携して、広報「森の泉」等により適切な分別について啓発に努める。
7) その他	